資料２

あんしんケアセンターの体制整備の方向性について

千葉市あんしんケアセンターは、行政（市町村）機能の一部として地域の最前線に立ち、地域包括ケアシステムにおける中核的な機関として期待されることから、現状の課題や今後求められる役割を勘案しながら、複合的に機能強化を図っていく。

国が示す方向性

人員体制

業務量に応じた配置

○高齢化の進展、それに伴う相談件数の増加等を勘案し、センターに対する人員体制を業務量に応じて適切に配置。

○さらに、今後、現在の業務に加え、地域ケア会議の推進、在宅医療・介護の連携強化、認知症施策の推進を図る中で、それぞれのセンターの役割に応じた人員体制の強化を図ることが必要。

業務内容の見直し

センター間の役割分担・連携強化

○在宅医療・介護の連携強化、地域ケア会議、認知症施策の推進等を図る中で、地域の中で直営等基幹となるセンターや機能強化型のセンターを位置付けるなど、センター間の役割分担・連携を強化し、効率的かつ効果的な運営を目指す。

行政との役割分担・連携強化

○委託型センターに対して、市町村が提示する委託方針について、より具体的な内容を提示することを推進。

○これにより、市町村との役割分担、それぞれのセンターが担うべき業務内容を明確化。

効果的な運営の継続

PDCAを充実

○センターがより充実した機能を果たしていくには、運営に対する評価が必要。（現在、約3割の市町村が評価を実施）

○市町村運営協議会等による評価の取組、PDCAの充実等、継続的な評価・点検の取組を強化。
併せて、情報公表制度を活用し、センターの取組について周知する。

千葉市の方向性（案）

○あんしんケアセンターの増設
・相談件数の増大に加え、地域ケア会議の充実、認知症初期集中支援チームや生活支援コーディネーター等関係機関との連携など、あんしんケアセンターには今後も多くの役割が求められている。
・平成29年度に6か所増設し、30か所体制に整備する。
・高齢者人口の伸びや、市民の方々の利便性等を踏まえた様々な視点で日常生活圏域の見直しを行う。

○包括三職種の増員
・高齢者人口の分布等を見ながら増員を検討する。
・平成29年度の増設を考慮し、職員数のバランスに配慮しながら増員する。

○介護予防ケマネジメントの人員体制の強化
・介護予防・日常生活支援総合事業への移行を踏まえ、介護予防ケアマネジメントを行う職員を確保する。

○基幹型センターの設置
・平成29年度の増設にあわせ、基幹型センターを各区１か所づつ位置付ける。
・行政や他センターとの総合調整をする。
・区内センターの後方支援をする。
・他センターとの地域ケア会議の開催などを調整する。

○センターごとの役割に応じた委託方針の提示
・センターが担うべき業務に加えて基幹型センターについては、その役割を明確にする。
・センターと保健福祉センターとの役割分担について、お互いの専門性を活かせるように業務内容を明確にする。

○あんしんケアセンターの運営に対する評価
・業務チェックシート及び実績報告シートの内容の見直しを図る。
・実地調査や管理者面接を通じて、あんしんケアセンターの効果的な運営について、継続されているか確認をする。
・実績報告内容等を当部会に報告し、定期的な評価・点検を行う。
・あんしんケアセンターの適正な運営の確保を図るため、アンケート調査等を行う。